事業所名　グループホームあかり

作成日 ： 平成 23年 4月 11日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況（任意）
1	23	利用者個々の暮らし方の希望や本人の求めていることを探るためのアセスメントの工夫	① センター方式シートの活用を増やし、本人の思いをくみとれるようにする。 ② 押しつけにならないよう、本人の希望する生活ができるようになる。	① センター方式のD-3,4シートの活用。 ② 本人の言葉や動作･様子を聞き逃したり見逃さないようにする。 個別に関わっていく。	6 か月	
2	35	避難訓練では夜間想定や地震等の災害を想定した訓練を重ね、地域の方の協力体制を含めて安全･安心に向けた取り組みが必要である。	利用者･職員の安心･安全に向けた取り組み及び地域の協力体制の基礎ができる。	① 5/11に地震想定での避難訓練を実施。 ② 地域の方の協力体制を構築する。	6 か月	
3	10	家族との関係が深めていけるような取り組みが必要である。	グループホームや事業所の取り組みを知っていただく機会を持ち、ご家族との関係を深めてともに利用者の生活を支えることができる。	① 家族への連絡の内容を充実させ、情報提供する。 ② 家族との連絡を密にする。 話し合いの時には主任や担当者が同席でき、関係を深める。 ③ 家族会の開催。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

事業所名　　グループホームあかり
作成日　：　　平成　23年　4月　11日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容（↓該当するものすべてに○印）	
1	サービス評価の事前準備	○	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（　　）
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
			②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（　　）
3	外部評価（訪問調査当日）	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	③対話から、事業所の努力･工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（　　）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開		①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（　　）
5	サービス評価の活用		①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		○	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
			④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（　　）